

## 米国の道路投資額が 200 億ドルに上る

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 掲載日  | 2009 年 11 月 3 日                      |
| 国名   | アメリカ                                 |
| 分類   | 道路事業全般                               |
| 出典   | FHWA ニュース(HP)                        |
| タイトル | Highway Investment Hits \$20 Billion |

米国交通大臣 Ray LaHood 氏は連邦道路庁が今週高速道路、一般道と橋梁プロジェクトに投資される 200 億ドル以上の予算を承認したことを発表した。米国経済回復再投資法案(ARRA; American Recovery and Reinvestment Act)によって実施される連邦道路や橋梁プロジェクトの総額 266 億ドルに上る予算の内、75%以上はもう既に承認されている。交通大臣は、冬が間近でも道路や橋梁プロジェクトを実施することにより、数千人の新たな雇用創出と更に数千人の生活救済に繋がることから、この法案が多くの人々を再び仕事に戻すと同時に米国の道路と橋梁の補修にも役立つことを述べている。

連邦道路庁は、コロラド州デンバー市 I-25 高速道路における工事費 3,600 万ドルの Alameda 橋の架け直し工事の承認により、一つの節目を超えた。当該プロジェクトの承認で 10 月が道路支出の最も多い月の一つになり、約7億6千万ドル近くの支出を許可している。

最近承認された他の大きなプロジェクトは以下のものが含まれる。

- 8月、ペンシルベニア州ピッツバーグ市 I-279 高速道路における日交通量8.1 万台の Fort Duquesne 橋の安全性強化のために、約 2,620 万ドルの補修工事が開始された。
- 9月、カリフォルニア州サンバーナーディノ市では 10 億ドル相当の大規模プロジェクトが着手された。このプロジェクトの中では、地域経済に打撃を与えている交通渋滞を軽減するために 1.28 億ドルの ARRA ファンドを利用して I-215 高速道路の改築工事が含まれている。
- 9月、ミネアポリス幹線道路と I-94 高速道路の間約 5km の延長工事が開始された。この延長工事が完了すると、道路の遮音壁と歩道橋の整備により交通渋滞が緩和され、地域住民の生活水準が改善される。
- 10 月、オハイオ州のネルソンビル市では、地方道路から州際高速道路へ交通量を転換させるために、約 19.2km の往復4車線道路の建設が始まった。このプロジェクトは 1.38 億ドルの ARRA ファンドを利用しており、オハイオ州では今まで ARRA ファンドを利用した最大規模のものである。

連邦道路庁長官の Victor Mendez 氏は、補修時期がとっくに過ぎている米国の多くの道路と橋梁を取り組むことにより、上記のようなプロジェクトが、米国のインフラを強化すると共に米国の経済や地域住民の生活水準を改善していることを述べている。

今まで、約 8,500 個のプロジェクトが既に承認され、その内約 5,000 個のプロジェクトが実施中である。